

第 12 回厚別区防犯ネットワーク会議 会議録

1 日時・会場

平成29年7月20日（木） 15:00～16:30
厚別区役所2階 会議室A

2 出席者（敬称略）

栃尾 美加子（小学校長会厚別支部）
波多野 達郎（厚別区PTA連合会）
太田 昭一（もみじ台まちづくり会議）
栗原 佐外夫（厚別東地区まちづくり会議）
野川 順子（厚別区青少年育成委員会連絡協議会）
大川 博（厚別区中学校長会）
田中 昭夫（公益社団法人札幌市子ども会育成連合会）
原田 剛（厚別警察署生活安全課）
神 昭一（厚別警察署少年補導員連絡協議会）
山本 康次（厚別区保護司会）
砂山 達郁（北海道コカ・コーラボトリング(株)）
阿部 武仁 厚別区市民部長
國島 徹 厚別区市民部総務企画課長
櫛引 重一 厚別区市民部総務企画課地域安全担当係長
柴田 肇 厚別区市民部総務企画課地域安全担当係

3 会議内容

【1】代表互選

事務局

以前より代表については、小学校校長会からご出席の方をお願いしていることから、今年も小学校校長会からご出席いただいている、厚別西小学校の栃尾校長先生をお願いしたいと思う。

当ネットワークの規約において互選することとなっているので、改めて皆さまのご承認をいただきたい。

～拍手（承認）～

なお、副代表については、これまで務めていただいている厚別区PTA連合会の波多野副会長が今年度も引き続きご参加いただいているので、そのまま留任いただいて

いる。

【2】平成29年度厚別区防犯教室開催結果について

事務局

資料2について説明する。

昨年度の当ネットワーク会議の結論としては、今後も、毎年小学校2～4校での開催を継続し、5年程度で厚別区内の全小学校で開催するということであったので、特に反対等がなければ来年度も継続していきたいと考えている。

時期は、小学校の都合上、今年と同じく6～7月頃を考えており、事前調整のため4月早々には開催内容を決定する必要がある。よって、今年度2回目となる次回の会議で方向性について結論を出して、その後、栃尾代表と事務局と調整のうえ開催したい。

昨年は、地域住民とPTAの参加がほとんどできなかったが、今年度は地域住民が8人参加できた。しかし依然として参加者が少ないので、来年度は参加者への事前周知方法について今後検討したい。

【3】共栄小学校地域安全マップの実施結果について

事務局

資料3のとおり。

【4】各構成団体から

- 小学校では自分の命は自分で守るという取り組みの一環で日頃から指導を行っているが、年に1回防犯教室を教育課程に取り入れて行っている。防犯教室は警察に来ていただいていたが、今回は東京から講師を招いて実施した。アプローチの仕方が通常の防犯教室とはまた違った形であり、講師の補助者が演劇関係の人だということで子ども達が親しみやすい構成であり、今回の取組はありがたいものとして実施させていただき、今後も計画的に厚別区内の学校で実施されるということで、小学校長会でも感謝している。
- 国道274号線よりも北側の上野幌地区ではこれまで変質者が出るということがほとんどなく、どちらかというとJR側の方で出没情報があったが、実際児童が触られるという事案が最近数件発生した。これが引き金かわからないが、小規模校化してきた上野幌西小学校では、今年度になって初めて、車で児童を毎日送迎する家庭が数件でてきた。不登校や風邪をひいての送迎はみたことがあるが、必ず毎日同じ親が子どもを送迎するという光景は今まで見たことが無い。この根本には子どもの見守り環境に関する漠然とした不安というのがあると思う。こういうのがバロメーターになって、そういう時にはより地域の見守り活動を活発にしなければいけないとつくづく思う。先ほど小学校長会から子ども達が自分の身は自分で守れるようにするという話があったが、だからこそ子ども達同士が集団で登校して、怪しい大人がいるときには信頼できる大人に対して報告できるようにすることが、登下校における訓練の一つではないか。自分の身を自分で守るた

めには、学校における集団行動というのが非常に重要であると思う。そういった活動がみなさんの身近にあれば、大人の目として登下校を見守っていただければと思う。

- 子どもと女性に対する事案として発生状況をお話する。6月末現在で、手を掴む、盗撮、痴漢が前年より増加している。犯罪自体は減っているが、子どもと女性に対する前兆事案が増えている。その他増えている事案としては特殊詐欺であるが、総合的に刑法犯の認知件数は去年より減っている。また、警察が認知している中でも、数件ではあるがただ単に道を聞いているというのもあり、状況がわからないので件数に含めている。昨日も下半身露出が1件発生している。

それと去年と一昨年は無かったが、上野幌地区で不審者が最近増えている。上野幌地区から国道274号線を北広島市方向に進んだところで多く発生している。そこは防犯カメラが無いので被疑者の特定に至らないケースが多いが、その中でも数件下半身露出した人を特定している。今年特定した件数の中で事件になっているものとなっていないものがあり、なっていないものとしては障がいがある人ということで、施設に指導をお願いして終わらせていることがある。ただ先日上野幌で発生した事例は手を掴んでいるので、障がい者ではないと思う。

高校生以上に対する事案としては新札幌での盗撮が非常に多い。バスターミナルのエスカレーターが長く、人通りが無くなると誰もいなくなる。それと終電を降りてから青葉町やもみじ台に帰宅途中に変質者に会うことが多い。警察も啓発活動を行っているが犯罪は減っていないので、今後もみなさんの協力をいただきたい。

- 今話があったように、厚別区内で児童への声掛け、痴漢、下半身露出が続出している。我々も防止の啓発活動を実施したいと思う。地域の方が下校時や公園に立っていただくと、不審者を寄せ付けないのではないかと。また、少年補導員としては青葉小学校の下校のパトロールを週2回程度効果的に行っている。パトロール中は不審者は見当たらないが、見かけたら警察に相談して職務質問をお願いしている。地域の少年は地域で守り地域で育てるということで、地域の方と連携をとることは承知しているが、中々連携のパイプの作り方が難しい。

- 最近防犯上で目につくのは、近郊の中学生が建物の屋上に侵入していることである。7月に入って札幌市圏外の高校生6人くらい、男子5人女子1人が8階建ての屋上で夜の10時30分過ぎに侵入していたので、信濃交番とひばりが丘交番から5~6人来てもらって事情聴取してもらった。すると、屋上で星を見学したいと話していたとのこと。今後は事件・事故につながらないように監視したい。

厚別中央地区には大きな公園があり、夜な夜な低学年から高学年まで通りすがりが多々見える。地域の安全・安心のため、特に夏場は巡回したいと思っている。

- 子ども会の最近の悩みとしては、町内会をやめていく家庭が多いということ。子どもに関する問題は非常に深刻になっているので、子ども達を地域で育てるという観点で、町内会で一緒に活動していただければと思う。

先日、スクールゾーン実行委員会における報告の中で、子どもが道路でサッカーボールを蹴っていたので危険だと思い注意すると「あんたに注意される筋合いはない」と返

されたとのこと。大人は普段子どもに接する機会はないので、そういう言葉に非常にショックを受けた。放課後に子ども達の安全で安心できる居場所というのが求められているのではないかと思う。

また、直近の悩みとして、子ども会が札幌市から委託を請けている事業があるが、全市から200人くらい参加しているもので、その中で子ども同士の揉め事があり、それを「いじめ」ととらえる親がいて、キャンプをやるときもいじめた子を外せなどの問題が起きている。事務局で話を聞いてもなかなか難しい。

- 当社としてはこれまで厚別区とのパートナー協定に基づき、わらび階段の防犯カメラ設置をとおして過去から活動しているが、それに加えて日々の活動として、自動販売機を補充するトラックや地区を回っている営業車に子どもを守る運動のステッカーを貼って、何か異常があった場合は警察に連絡するなど適切な対応をとるような意識づけを全社一丸となって進めている。

また、今年に入って自動販売機の盗難が去年より増えている。厚別区ではないが、北広島市のゴルフ場や工場など外に設置している自販機が狙われている。ゴールデンウィーク明けや正月明けという人があまりいない期間の被害が増えている。直近では犯人が捕まっている状況ではないが、そういった中でシェアできる内容があれば開示させていただきたい。

- 配布した札幌市子ども110番の家支援事業の資料をご覧ください。これは昨年の当会議でご説明したが、改めて説明する。この制度は子どもが登下校時に不審者からの声掛けなどで身の危険を感じた時に避難する場所として駆け込むことができるという制度である。札幌市では地域などが安心してこの制度を利用できるよう、いろいろ支援メニューを用意している。一つ目はマニュアルとステッカーの配布。二つ目は子どもが駆け込んだことにより何か被害が発生した場合の見舞金制度。三つめはステッカーを貼っている家を印したマップの配布。四つめは登録した人を対象とした講習会の開催。

今年度については来週が申込期限となっているので、みなさまの団体においても、加入の検討をお願いしたい。現在厚別区ではPTAや町内会、青葉地区の子どもを見守る会から申請をいただいている。特に青葉地区の子どもを見守る会からは324件の申請があり、このように1つの地区で多くの家にステッカーを貼ることにより不審者に対する心理的な抑止効果があると思われる、青葉地区では不審者情報が少ないことから、この制度は防犯効果が期待できるので、興味のある団体があれば是非紹介していただきたい。

- 今説明のあった子ども110番の家支援事業については、市のPRが不足している。自分もこの制度ができてからまちづくりセンターの所長とも話し合ったが、具体的にどうやればいいのかという話がなかなか進まなかった。ステッカーも今初めて見せてもらった。逆に言えば持っていく方法によっては町内会で協力するところも多いと思う。

事務局

確かにPR不足はあった。2年前の制度立ち上げ時は本庁部局が市内全学校を対象に説明会を行ったが、それ以来大規模なPRはしていない。今年度は区役所がスクールゾーン実行委員会などで説明したり、町内会の会合に参加した際に説明したりしている。

今後何か機会があればどんどんPRしたい。

- 昨年は青葉の110番の家を全て更新するというので、町内会も全て再確認して新しい名簿を作成して申請した。よって申請数がかなり多くなった。
- 今回自分の町内会の会議に区役所担当者と呼ばれた際、子ども110番の家の説明をされたが、青葉地区で324件申請があったことを聞いて、自分の地区も多数申請しようということになった。青葉の話が面白い刺激になった。
- 中学校の状況としては、放課後にどこかで遊ぶという生徒は少なく、今の時期では部活で中体連があり、厚別警察署に依頼して中体連期間の巡視を手厚く行ってもらった。毎月、区内8校の中学校で変質者情報を交換しており、4月は情報が無く、5月に1件、6月に入ってある程度増えた。中体連の時期と被っており、範囲についても広く目撃されている。上野幌の東部緑地付近やもみじ台団地、信濃小学校、12号線沿いのコンビニエンスストアなどで目撃情報がある。内容としては声掛け事案に加えて無許可撮影。これらは警察にすぐ動いてもらって被疑者に厳重注意してもらった。人通りが多いからと言って安心できないということを常に生徒には教えており、部活で遅くなったときは特に女子は集団で下校すること、何かあったら身を守ることを第一に指導している。

新札幌あたりで高校生や中学生のゲームセンターでのトラブルもあるようだが、どちらかという今は外に行かないでスマホで一人で遊べるので、言葉でうまく伝達できないで文字で先行してしまうことによる誤解というトラブルが増えているように思う。よって本校もスマホの使い方も含めた安全教室を行ったが、これが喫緊の課題になるかと思う。
- 町連ごとにそれぞれ育成委員会があり、独自の取組としては青少年を見守る店ということで、キャラクターのステッカーを商店に貼ってもらうことで子どもを見守る意識をもってもらっている。商店に話を聞きに行くと、子どもの万引きは減っているが大人が万引きするとか、ジャンパーを着てパトロールしてもらっているとありがたいという声を聞く。また、地域ごとにお祭りの夕方にパトロールをしている。

先日西地区の児童会館の運営委員会に出席したが、不審者が来た時の対応として、児童会館は女性職員しかいないため不安を感じていると言っていた。町内会で見守りをすればいいのか、なかなか見当がつかないが、この会議で情報を共有していただければと思う。

また、スクールゾーン実行委員会で作成している危険個所を印したマップを町内会に提供していただけるといいかと思う。
- 今、児童会館の話が出たので提案したいが、以前、厚別東児童会館の館長にこの会議の内容を伝えた。子どもの防犯に関することが会議の中心になっているが、児童会館から出席している人がいないので、日頃子どもを見ている人の意見が少ない。このような状況なので出席依頼があれば出席していただけるか館長に聞いたところ、他の児童会館の館長の意見も含めて是非参加したいとのことだった。後ほどの議事でお諮りしたい。
- 児童会館から中学校に対しても何かあったら連絡をもらうことになっており、過去にも何件か事例があった。場合によっては職員が児童会館に出向くこともあり、そういっ

たつながりを持つことが地域としては大事なのかなと思う。中学生に対しての指導は学校だけでなく、児童会館でも指導していただいているということは大変ありがたいと思っている。

- 町内会の活動としては、小野幌小学校 1 年生の下校時間に合わせて役員と防犯部員が6人体制で毎週火曜日パトロールを行っている。また、老人クラブも毎週金曜日パトロールを行っている。このパトロールは 10 年くらい続いており、今後も継続したいと思っている。その他、夏休みには毎日近くの公園で児童と一緒に町内会 120 人でラジオ体操を実施している。町内会の夏祭りにもたくさんの子どもと町内関係者が 400～500 人くらい参加している。
- こちらの地域では P T A との連携が密ではないからなのか、あまり子どもに関する情報が入ってこないが、そもそももみじ台は市内でもかなり高齢化が進んでいる地域なので、子どもの数が少ない。

先ほど話しのあった子ども 110 番の家について、もみじ台にはステッカーを貼っている家が少なく、5 月に役員から言われたことを受け、調査をして 6 月の役員会で 110 番の家の制度があることがわかり、急いで回覧して周知することになった。自治会でも申し込み希望者がいたが、今年度の期限に間に合いそうにない。これまでもみじ台の自治会から申込みはあったのか。

事務局

もみじ台の自治会から申込みは無かったが、今年度の提出期限に影響するのは見舞金の補償のみである。期限を過ぎても申込みは可能で、ステッカーもお渡しするが、補償制度の保険適用をうけるのが約半年遅れることになる。

【5】議事

- 先ほど厚別区 P T A 連合会から当ネットワーク会議の構成団体に児童会館を含めることについて提案があったが、承認いただける方は拍手をお願いしたい。

～一同拍手（承認）～

では児童会館を含めるということで今後調整していきたい。

（文責：厚別区総務企画課地域安全担当係）